

美濃病院経営安定化プラン検証表

(注) 1. 資本的収支以外の各金額は消費税抜き額(単位:千円)

2. 患者数は健診・予防接種等を除く

項目			5年度 上期実績値	5年度 目標値	目標値に対する 実績値の割合	4年度 目標値	4年度 上期実績値	備 考		
収益的 収支	収 入	医業収益	1. 入院、外来収益	① 1,207,590	2,313,536	52.20%	2,313,536	1,180,230		
			2. 他会計負担金	② 0	14,632	0.00%	14,632	0		
			3. その他	③ 93,894	200,851	46.75%	200,851	94,430		
		医業外収益	1. 他会計負担金	④ 0	22,468	0.00%	22,468	0		
			2. 他会計補助金	⑤ 0	19,981	0.00%	19,981	0		
			3. その他	⑥ 66,837	20,000	334.19%	20,000	95,677		
	収入計 (A)			⑦ 1,368,321	2,591,468	52.80%	2,591,468	1,370,337		
	支 出	医業費用	1. 給与費	⑧ 574,735	1,364,158	42.13%	1,364,158	572,241		
			2. 材料費	⑨ 148,861	354,062	42.04%	354,062	139,548		
			3. 経費	⑩ 297,057	460,281	64.54%	460,281	284,298		
			4. 減価償却費	⑪ 104,300	245,210	42.53%	245,210	105,132		
			5. 資産減耗費	⑫ 0	1,000	0.00%	1,000	0		
			6. その他	⑬ 29,837	53,109	56.18%	53,109	28,247		
		医業外費用	1. 支払利息	⑭ 12,783	34,887	36.64%	34,887	14,889		
			2. 繰延資産償却	⑮ 3,732	17,456	21.38%	17,456	9,019		
			3. その他	⑯ 15	58,000	0.03%	58,000	19		
		支出計 (B)			⑰ 1,171,320	2,588,163	45.26%	2,588,163	1,153,393	
		経常利益 (C) =(A)-(B)			⑱ 197,001	3,305		3,305	216,944	
		特別損益 (D)			⑲ △ 2,495	△ 3,000		△ 3,000	△ 1,848	
		当年度純利益 (E) =(C)+(D)			⑳ 194,506	305		305	215,096	
前年度未処分利益剰余金 (F)			㉑ 309,137	256,874		256,874	308,886			
前年度分利益剰余金処分額 (G)			㉒							
前年度繰越利益剰余金 (H) =(F)-(G)			㉓ 309,137	256,874		256,874	308,886			
当年度未処分利益剰余金 (I) =(E)+(H)			㉔ 503,643	257,179		257,179	523,982			
資本的 収支	収 入	1. 企業債	㉕ 0				0			
		2. 出資金(他会計)	㉖ 0	144,597	0.00%	144,597	0			
		3. 国、県負担金、補助金								
		4. 他会計負担金、補助金								
		5. その他								
	収入計 (J)			㉗ 0	144,597	0.00%	144,597	0		
	支 出	1. 建設改良費	㉘ 3,938	20,000	19.69%	20,000	22,321			
		2. 企業債償還金	㉙ 126,150	225,915	55.84%	225,915	128,387			
		3. その他	㉚ 0				0			
	支出計 (K)			㉛ 130,088	245,915	52.90%	245,915	150,708		
差し引き合計 (L) =(J)-(K)			㉜ △ 130,088	△ 101,318		△ 101,318	△ 150,708			
留保 資金	前年度末残高			㉝	2,783,970		2,783,970			
	当 年 度 増 減 額	当年度発生額			㉞	264,671		264,671		
		減価償却費	減価償却費			㉟	245,210		245,210	
			資産減耗費			㊱	1,000		1,000	
			繰延勘定償却			㊲	17,456		17,456	
			収益的収支			㊳	305		305	
			その他(調整を含む)			㊴	700		700	
		当年度充当額			㊵	101,318		101,318		
	資本的収支			㊶	101,318		101,318			
	その他									
当年度末残高			㊷	2,947,323		2,947,323				
一般会計繰出金の合計額			㊸ 0	201,678		201,678	0			
年度末企業債残高			㊹	3,035,863		3,035,863				

美濃病院経営安定化プランにかかる目標値と実績値

項目	5年度 実績値	5年度 目標値	目標値に対する 実績値の割合	4年度 目標値	4年度 実績値	備 考
入院単価(円)	㊺ 44,406	40,500	109.64%	40,500	41,613	
1日あたり入院患者数(人)	㊻ 104.97	107	98.10%	107	102.12	
日数	㊼ 183	365		365	183	
入院収益(千円)	㊽ 852,988	1,581,728	53.93%	1,581,728	777,668	
外来単価(円)	㊾ 11,474	10,800	106.24%	10,800	13,216	
1日あたり外来患者数(人)	㊿ 249.23	280	89.01%	280	247.65	
日数	㋀ 124	242		242	123	
外来収益(千円)	㋁ 354,602	731,808	48.46%	731,808	402,562	
経常収支比率(%)	㋂ 116.82	100.13	116.67%	100.13	118.81	
医業収支比率(%)	㋃ 112.70	102.70	109.74%	102.70	112.86	
職員給与費比率(%)	㋄ 50.22	53.94	93.11%	53.94	50.71	
病床利用率(%)	㋅ 86.04	87.70	98.11%	87.70	83.71	
平均在院日数(日)	㋆ 12.80	15.00	85.33%	15.00	12.12	
後発医薬品への転化率(%)	㋇ 34.00	37.00	91.89%	37.00	31.67	
紹介率(%)	㋈ 33.00	25.00	132.00%	25.00	33.10	
年延手術件数(件)	㋉ 276	785	35.16%	785	279	
年延入院患者数(人)	㋊ 19,209	39,055	49.18%	39,055	18,688	
年延外来患者数(人)	㋋ 30,904	67,760	45.61%	67,760	30,461	
年健診受診件数(件)	㋌ 9,571	12,500	76.57%	12,500	9,473	
一月平均訪問看護利用者数(人)	㋍ 99.16	84	118.05%	84	98.67	

※決算統計の給与費には、退職手当組合負担金及び児童手当を含まない。(経費に計上)

## 令和5年度上期 美濃市立美濃病院経営安定化プラン検証委員会議事録

開催日時：令和5年12月5日（水） 午前9時44分～10時23分

開催場所：防災中央コミュニティーセンター 2階大会議室

出席委員：堀部副市長 永田総務部長 西部民生部長 井上市長公室長 小瀬木会計管理者  
那須保健センター所長 後藤総務課長 古田福祉子ども課長 島田高齢福祉保険課長  
井川病院事務局長 春田病院事務局管理課長

書記・事務局：鵜飼病院事務局管理課長補佐

### 1. 開会（事務局長）

### 2. あいさつ及び進行（副市長）

安定経営を堅持するため、皆さんの検証・評価をお願いしたい。

### 3. 議題

#### （1）令和5年度上半期美濃病院経営安定化プランの検証・評価

春田管理課長：美濃病院経営安定化プラン検証表の上半期状況を説明。

<質疑>

井上市長公室長：下半期の見込みは？

- ・・・上半期はコロナ補助金がありましたが、下期は補助金がほとんど無くなる見込みのため厳しい状況です。

後藤総務課長：入院・外来単価が下がる？

- ・・・入院単価は余り変わりませんが、外来単価は下がっています。

後藤総務課長：コロナ患者収益も減り、補助金も無くなる？

- ・・・そのとおりです、厳しいです。コロナの特例加算がなくなる事も単価減少の要因です。

堀部副市長：医師増員による人件費への影響は？

- ・・・R4年度は研修医が4名増員されましたが、R5年度は研修医がすべて派遣元病院に戻り、現在は8名ですので、医師人件費は減っています。

堀部副市長：国の方針で看護師手当増額し、診療点数・薬価減額の状況はどうか？

- ・・・来年度診療報酬改定では、診療報酬を下げる見込みですが、各医療団体が国への増額要望をしています。

堀部副市長：公立病院の約8割は赤字経営であり、物価や委託費高騰、導入機器の更新も控えており厳しい状況になる？

- ・・・今まで15年間黒字経営の理由を確認したいと、外部機関（東海財務局、全国自治体病院協議会）より伺いがありますが、今後は厳しい状況です。

堀部副市長：病院には内部留保があるので、市では繰入金を減らしていきたい意向もあるが？

- ・・・基準内の繰入金でもらっていないものもあり、今後協議していく必要があります。

堀部副市長：他市（東濃地域）の病院では、経営が厳しく指定管理になる病院もあるが？

・・・医師供給や職員の意識が変わっていくと思います。

島田高齢福祉保険課長：国保の健診件数は増えていないが、全体の健診件数が増えていますが何か要因がありますか？

・・・会社への訪問活動等により社保の健診受診が増えています。国保の方は社保の退職後の方を健診勧奨すると良いと考えます。

堀部副市長：みの健康管理センターの運営（経営）は？

・・・売上は増えています、赤字ではありませんが人件費など経費は掛かっています。

井上市長公室長：センターの人数が多すぎる？

・・・指摘はありますが、常勤は3名ですが午前だけの非常勤職員を含めて多くいます。病院では健診センターは収益があると考えています。

#### 4. 検証及び評価のまとめ

(ア) 外来・入院ともに患者数は伸び悩んだが、多くの指標で目標を達成しており評価できる。

(イ) 経営状況は良好であると認めるが、令和5年度下期は厳しい経営状況が見込まれるため、引き続き一層の経営改善を図りたい。

(ウ) 電気代・人件費などの経費増が見込まれるために削減を努められたい。

(エ) 民生部との連携、健診センター体制の充実等により健診受診者の更なる拡大に努められたい。